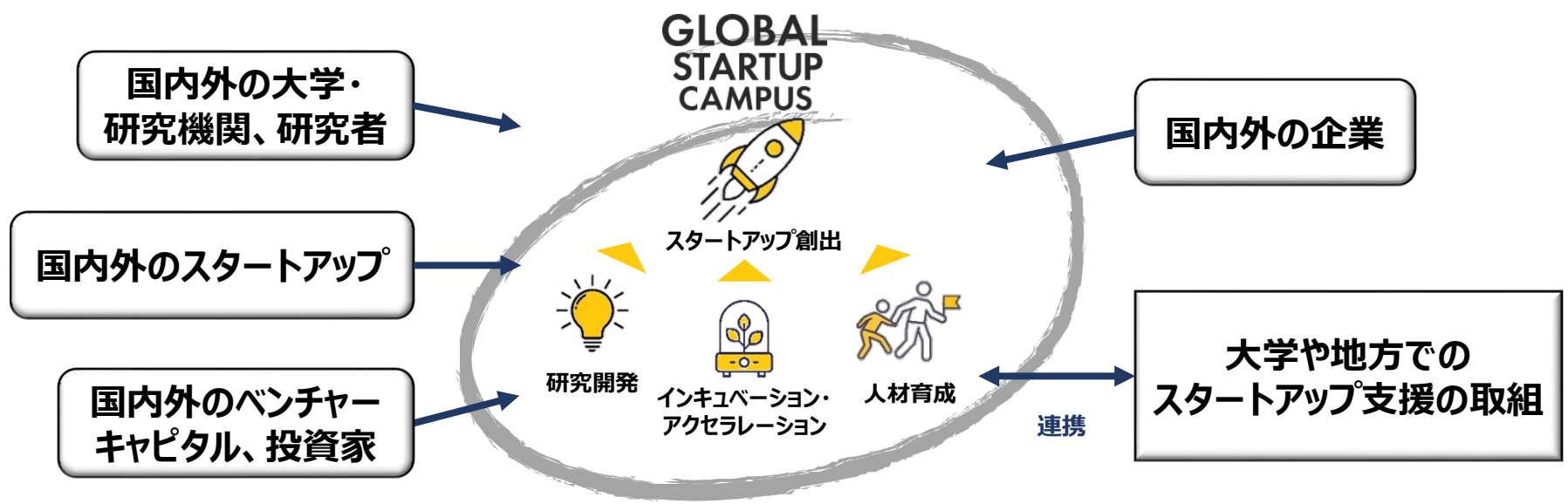


世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築するため、ディープテック分野での研究からスタートアップの成長支援まで一貫して実施するフラッグシップ拠点を開設。

同拠点は、

- ・魅力的な研究・事業支援環境の創出により、日本国内だけでなく世界各国から、**優秀な研究者、スタートアップ、ベンチャーキャピタル**等が集結し有機的に連携するコミュニティを形成
- ・また、日本各地で行われているスタートアップ支援の取組の中核となることで、日本全体の**スタートアップ・エコシステムを改革・強化**する。

これらの取組により、**グローバルに活躍するスタートアップの創成を通じてグローバルな社会課題の解決と国内の経済成長**を目指す。



グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 (コンセプト)

ミッション

世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築する。

GSC構想の 推進体制

- ◆ 統合イノベーション戦略推進会議を司令塔とする。
- ◆ 同会議が示す方針に基づき、フラッグシップ拠点の運営を担う運営法人を創設。
- ◆ GSC関連活動全体を幅広く連携させるコンソーシアム（アンブレラ組織）を置く。

主要活動内容

I ディープテック分野 の研究開発

- ◆ 社会的インパクトの大きいディープテック分野を重点。
- ◆ 研究の初期段階からマーケットフィードバックを重視。
- ◆ 充実した研究環境の提供。

II インキュベーション・ アクセラレーション

- ◆ 事業化支援（BD）・知財支援（IP）
- ◆ 海外VCやスタートアップ支援機関を招致。
- ◆ 国内外の大学・研究機関、企業、スタートアップ等に有償でスペースを提供。

III 人材育成

- ◆ 起業家精神のある研究者、VC、BD・IP人材を育成するためのフェロシップ事業を実施。
- ◆ 運営法人に幅広い人材を受け入れ、イノベーションを生み出すグローバルな経営を学ぶ場を提供。

IV その他

- ◆ 国内外のネットワーク形成に向け、各種イベント等を開催。
- ◆ 海外研究者等への滞在・ビジネス環境支援。
- ◆ 先端技術に関する内外の研究開発動向の調査研究。

運営法人の組織形態・事業展開

(組織形態)

- ◆ 国が役員人事・予算等の運営に一定の関与を行う民間主体とすることを念頭に、内閣官房・内閣府において、関係省庁の協力を得ながら、必要な法制上の措置も含め具体化。
- ◆ 研究開発からスタートアップ、国際事業展開まで一気通貫で取組む観点から、運営法人に関する制度は内閣府が中心となって所管。

(事業展開)

- ◆ 国内外の企業・非営利法人、投資家・篤志家による資金、政府の競争的研究費等も含めた多様な財源による自立的・持続的な運営（自走）。
- ◆ 文科省、経産省、防衛省等関係省庁の協力を得つつ、オールジャパンの体制で取り組む。関連する独法は、必要な連携・協力を行う。
- ◆ 政府方針に基づき、GSC全体の研究・事業化リソースを活用・強化。

土地・建物

- ◆ 土地は、東京都目黒区・渋谷区に跨る国有地を活用。運営法人が当該国有地を現物出資等により使用することを基本。
- ◆ 建物は、世界のトップ人材を魅了するものを建設する。
- ◆ 設計・建設に当たっては、世界の研究・インキュベーション施設の運営経験と知見を組み込み、民間ノウハウや資金を最大限活用することを基本。

先行的な取組

- ◆ ① 先行研究事業の実施：施設の開所・運営法人の設立に先立ち、世界から優れた人材・投資を集める呼び水となる最先端の研究活動を実施。
- ◆ ② フェロシップ事業の実施：グローバル・ネットワークの構築に向け、フェロシップ事業についても先行的に実施。

国 (統合イノベーション戦略推進会議)

- ・ 担当大臣の下、方針を提示
- ・ GSC構想の下での広範な活動を柔軟に展開可能な枠組として構築

コンソーシアム (アンブレラ組織)

- ・ 法人運営以外の活動も含め、GSC関連活動全体を幅広く連携

GSC運営法人

● 組織形態・運営

- ・ 国が役員人事・予算等の運営に一定の関与を行う民間主体を念頭
- ・ 研究開発からスタートアップ、国際事業展開まで一貫通貫で実施
- ・ 柔軟な事業運営を実現 (業務の専門性に応じて外部委託などを活用)

● 事業展開

- ・ 多様な財源による自立的・持続的な運営 (自走)
- ・ 関係省庁・関連独法は必要な連携・協力 (オールジャパンの体制)
- ・ 政府方針に基づき、GSC全体の研究・事業化リソースを活用・強化

